

入選 高学年の部 ねえちゃんの歌

富山県
富山市立堀川小学校四年

松田 わこ

お昼寝の妹のほっぺかわいくて

そーっとさわる風のふりして

ねえちゃんがこんな短歌を詠んでくれていたことを知ったのは、だいぶ後になってからだ。そして、こんな風に思ってくれていたんだということも、そのときにわかった。

私より3つ年上のねえちゃんは、とてもものんびり屋で、ほとんど怒った顔を見たことがない。いつもだいたい笑っている。ママに、「早くごはん食べられ!」とか「早く用意しられ!」とよく注意されているけれど、「はい」と答えてニコニコしている。ねえちゃんは今年中学生になったので、朝学校へ一緒に行くことができなくなった。でも、小学校のグラウンドのすぐ向こうに中学校が見えるから、私はさみしくない。

半年ぐらい前、私がママに小さなウソをついたことがあった。はじめは、そのことがへっちゃらだったはずなのに、なぜかだんだん気になってきて、どんどん心が重くなってきた。どうしようもなくなつて、私はそのウソのことをねえちゃんに打ち明けた。ねえちゃんはびびくりした顔をして、「すぐに本当のことをママに言った方がいいよ」と言った。私は「ウソをついたこと、きつとすこく怒られるからダメ」と言

い返した。ねえちゃんはいつものニコニコ顔とはまったくちがう困ったような顔になって、「でも、今本当のことを言わないと、もつともつとウソをついてしまうことになるよ」と言つて、私をぎゅつとだきしめた。そのとたん、涙がポロポロ出てきた。ママが帰つて来るのを待つて、ねえちゃんと一緒に、本当のことを話した。もしねえちゃんがいなかったら、私はあのウソの行き先を見つけられずにはいたと思う。今でも「ありがとう」の気持ちでいっぱいだ。

ねえちゃんは今日から合宿メロンパン

2こ食べちゃったのにさみしい

ねえちゃんが夏の合宿に出かけて、私はねえちゃんの分のメロンパンも食べていいことになった。食べている間は「ラッキー」と思っていたのに、急にさみしくて、つまらなくなつてしまった。その時の歌だ。ねえちゃんの歌に私がときどき出てくるように、私の歌にもねえちゃんがよく登場する。いろいろな「ありがとう」を、直接伝えるのはむずかしい。私は、口に出して伝えられない分は、せめて短歌ノートにそつと残しておきたいと思う。